

第 20 回 ACTV 放送番組審議会報告

このページは、全関西ケーブルテレビジョン（ACTV）の番組審議会のページです。

「放送法 第6条第1項」の規定により、放送番組審議機関として、「ACTV 番組審議会」を設置し、自主放送番組の審議を行っております。

ACTV の番組審議会は、年に1回開催しております。議題は、番組内容、編成方針、その他コミュニティチャンネルの放送サービス全般に渡っております。

ACTV では、審議会で提出されたご意見・ご質問・ご要望や斬新なアイデア、感想などを番組制作の改善や編成業務の参考にさせていただきます。

平成 29 年度番組審議会委員（敬称略・順不同）

| | | |
|-----|---------------------------|--------|
| 委員長 | 帝塚山大学 名誉教授 | 森 一貫 |
| 委員 | 朝日放送（株）経営戦略室 局次長待遇 マネージャー | 木村 祥隆 |
| 委員 | 鳥取県八頭町企画課長 | 川西 美恵子 |
| 委員 | 和歌山県国保すさみ病院 事務長 | 仲 哲生 |
| 委員 | 朝日新聞大阪本社グループ企業・ネットワーク担当部長 | 平岡 和幸 |
| 委員 | 京丹後市企画総務部情報政策課長 | 木村 裕一 |

日時：平成 29 年 8 月 2 日（水） 11：00～12：30

場所：全関西ケーブルテレビジョン 本社会議室

出席者：委員 6 名出席

（委員長）森一貫

（委員）木村祥隆、川西美恵子、仲哲生、平岡和幸、木村裕一、

（ACTV）松尾匡、田中恒夫、迫田マサキ、宮崎裕也

番組審議会議事

審議対象作品：当社のケーブルテレビ事業のコミュニティチャンネル放送番組。

1. 京丹後局 文化財めぐり「網野銚子山古墳」 15分
2. すさみ局 歴史街道「江須崎島」 15分
3. 八頭局 「ミニ SL 博物館 OPEN」 15分

審議内容

審議対象作品に対する審議委員全体の感想は、「番組放送基準上、特に問題のある番組はない。各地域にもよく貢献していると思う。」というものだった。

各審議委員の意見、要望、感想は次の通りです。

番組審議委員より総論としての感想

京丹後局の文化財めぐり「網野銚子山古墳」は、ドローンによる上空からの映像もふんだんに使い、規模感がよくわかる。京丹後市の施策に対しての成果を知らせる番組としては評価できる。

すさみ局の歴史街道「江須崎島」も、同じくドローンを使った映像が良い。神社のいわれや密林の植物まで、情報量も多い。

八頭局「ミニSL博物館OPEN」は、SLの映像がふんだんにあり、番組構成もよい。来場者の声や寄贈者のインタビューも臨場感があってよい。できればSLを作っている映像も見なかった。

以上、概ね特に問題のある意見、感想はなかった。

ACTV 制作担当者より

今回の番組モニターは、京丹後局が京丹後市の制作メインの制作番組、すさみ局が大阪ACTV 自主制作の番組、そして八頭局が地元スタッフ中心となって制作した番組を見てもらいました。どれも大阪ACTV と地元とのコミュニケーションを大切にして制作しました。現在も、お互いが効率化とローコストでの番組制作を目指しながら、コミュニケーションをとりながら喜んでもらえる番組作りをしています。

松尾代表取締役社長

多角的で大変意義のある意見をいただき有難うございました。

我々のコミュニティチャンネルは、行政の予算執行によるものも多いので、住民に喜んでもらえる番組作りとともに、行政内の広報を住民に周知するという側面もあります。

行政が作るのではなく、我々がどういう視点で番組を作るかが大事であります。

我々が制作する番組は、今後住民に喜んでもらう工夫と、みんなに知ってもらうという番組作りを違った視点を持ってやって行くべきだと思います。